

テーマ「若いも若きも暮らしやすいまちを目指して」における主な意見

---

○地域包括ケアシステムの構築（※午後に出た類似意見も含む）

意見：平成 31 年度中に開設される予定であった市内二か所目の地域包括支援センターだが、翌年度 4 月の開設にずれ込んでいる。たださえ近隣市と比べて数で及ばないのに、危機感が薄すぎる。3 か所目、4 か所目と増やしていく方向での議論を進めてほしい。

意見：包括支援センターは「相談を受ける」機能のみならず、地域の福祉の中心拠点として活動することを望む。

意見：センターと自助、共助、公助のシステムティックな連携を、行政、議会のそれぞれがどのようにとらえているか知りたい。

意見：サブセンター開設の進捗状況を知りたかった。

意見：これ以上は待てない。今黒字があるというなら、それをつぎ込む覚悟を持ってほしい。

意見：具体的なデータを把握しないとセンターの必要数などの検討もできない。詳細なデータを市民に伝える方向で努力してほしい。

・委員からの応答

回答：たしかに遅い。公設公営と民間委託の長短も見極めたい。

専門職が不足していることは独立したセンターにならなかつた一因であろうが、サブセンターの今後の成り行きを注視していきたい。

---

○市長への評価

意見：委員会として市長の公約の進捗状況をどう評価しているか聞きたい。

意見：市長が福祉を知らんでは話にならない。市長と語る会は、形だけで、回答も対応もない。2001 年以降は協働のまちづくりのはずではないのか。

---

---

○行政のスピード感

意見：手続きが遅く、手すり（介護用）が全然つかなくて困っている。

意見：職員のレベルを引き上げていけないか。行政をどう動かすか、課題になっている。

・委員からの応答

回答：自治体間のサービスの均衡はめざしていきたい。

窓口の体制の検討やアプリの活用なども考えたい。

---

○老人会の今後

意見：健康指向を前提において老人会のあり方を考えると、加入率は高いほうが良いと思われる。しかし、現状は低減傾向にあるうえ、老人会の高齢化も進んでいる。魅力ある老人会の在り方を官民一体で考えていきたい。

意見：大寿連など、たしかに煩雑な手続きがあったと記憶する。入りにくさがあるならそれを分析し、老人会を元気な高齢者同士をつないでいく場となるようにしていきたい。

・委員からの応答

回答：行事としては敬老会が最大のものになっているが、日常的な老人会活動をより積極的に支援する方向をとってもいいのではないか。

---